

◆ 第 3 学年 ◆

参加人員	平均点
3,293人	77.28点

得点分布表

得点分布	0～ 9	10～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～ 89	90～ 99	100 点	標準偏差	平均点 (点)
百分率 (%)	0.0	0.0	0.0	2.1	4.6	7.5	11.8	18.5	23.1	22.5	9.9	16.64	77.28

問題別正答率

問題番号			観点	正答率	問題番号			観点	正答率
[1]	[あ]	①	知識・技能	71.8	[4]	[い]	⑪	知識・技能	73.7
		②	知識・技能	73.2	[5]	[あ]	⑫	思考・判断・表現	67.6
	[い]	③	知識・技能	82.3		[い]	⑬	思考・判断・表現	84.2
	[う]	④	知識・技能	76.7		[う]	⑭	知識・技能	89.3
[2]	[あ]	⑤	知識・技能	83.4			⑮	知識・技能	97.6
	[い]	⑥	知識・技能	63.3			⑯	知識・技能	92.2
	[う]	⑦	知識・技能	76.4			⑰	知識・技能	86.3
[3]	[あ]	⑧	知識・技能	81.8			⑱	知識・技能	96.2
	[い]	⑨	思考・判断・表現	55.2	⑲	知識・技能	82.6		
[4]	[あ]	⑩	知識・技能	56.6					

問 題

令和3（2021）年度
奈良県社会科診断テスト問題

第3学年

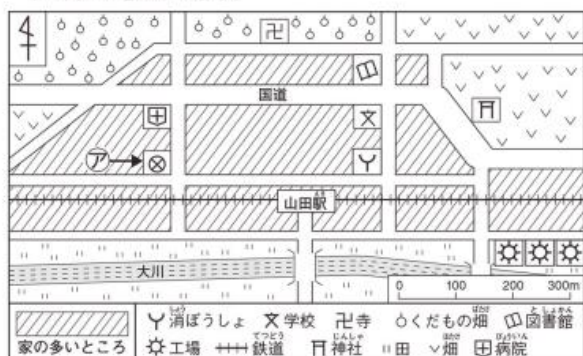
組

番

名前

点

1 学校の近くをたんけんして、地図を作りました。次の地図を見て、下の問いに答えましょう。



(あ) 次の文の に合う、「東・西・南・北」の方位を書き入れましょう。

誤答例 東(17.4)

- ① 学校から見て、病院は **西** の方にある。 71.8
 ② 消ぼうしょから見て、図書館は **北** の方にある。 73.2

誤答例 南(10.2) (知識・技能) ①②

(い) 地図中の①は、何を表す地図記号ですか。次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① けいさつしょ ② ゆうびん局 ③ 市役所

答え ①

誤答例 ③(10.7) (知識・技能) ③

(う) 公共施設はどれでしょう。次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① 図書館や公民館 ② スーパーマーケットやコンビニエンスストア ③ 神社や寺

答え 76.7

誤答例 ②(12.9) (知識・技能) ④

2 あおいさんが住んでいる市の土地利用と交通のようすについて、次のしりょうを見て下の問いに答えましょう。

あおいさんが住んでいる市の土地利用と交通のようす



(あ) あおいさんたちが住んでいる市の土地利用について、次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① 市の中で、もっとも多いのは田畑である。 83.4
 ② 市には、森林はほとんどない。
 ③ 市の西がわに、住たく地が 3 83.4

誤答例 ②(8.8) (知識・技能) ③

(い) 交通の広がりについて、次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① 鉄道は、とくに市の西がわに広がっている。
 ② 道路は、とくに市の南がわに集まっている。
 ③ 鉄道は、市の全体に広がっている。

63.3

答え ①

誤答例 ②(19.6) (知識・技能) ⑥

(う) 鉄道や道路は、住たくが多いところに広がっています。そのわけを次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① 電車やバスを使って山の方へ行く人が多いから。
 ② 観光地へ行く人が、バスだけで観光地へ行くから。
 ③ 通きんや通学に電車やバスを利用している人が多いから。

76.4

答え ③

誤答例 ①(13.9) (知識・技能) ⑦

3 たかしさんたちは、「安全なくらしを守るくふう」について、話し合いをしています。次の三人の話し合いをもとにして下の問いに答えましょう。



安全なくらしを守るために、ぼくたちにできることは何だろう。



わたしは、自転車に乗るときには、道路の左がわを走るようにしているよ。



そうなんだね。ぼくは、ヘルメットをかぶるようにしているよ。



そうだね。安全なくらしを守るためには、わたしたちが話し合ったような () が大切だね。



そうだね。わたしは道路を歩くときには、()。

(あ) に合う言葉を、次の①～③の中から正しいもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

- ① こども110番の家に助けをもとめること
 ② 地いきのパトロールをすること
 ③ 法やきまりを守ること

誤答例 ①(10.5)

81.8

答え ③

(知識・技能) ③

(い) みくさんは、ゆいさんの話を聞いて、道路を歩くときに守らなければならない交通ルールについて話そうとしています。みくさんの話のつづきを考えて書きましょう。

わたしは、道路を歩くときには、

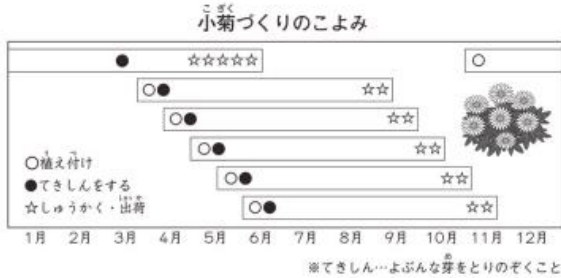
答え

正答(55.2)

誤答(44.8) (思考・判断・表現) ⑧

問題

- 4 奈良県の小菊づくりについて、次の問いに答えましょう。
 (あ) 次のしりょうを見て、下の①～③の中から正しいもの一つえらんで、その番号を書きましょう。



- ① 長い期間出荷できるように、時期をずらして育てている。
 ② 1年中出荷できるように、一度にまとめて育てている。
 ③ 同じ時期に出荷できるように、時期をずらして育てている。

答え ① 56.6

(知識・技能) ①
誤答例 ③(23.6)

- (い) 小菊をよりよいじょうたいで出荷するための努力やくふうについて、下の①～③の中から正しいもの一つえらんで、その番号を書きましょう。



小菊は、花がさく少し前にしゅうかくします。つぼみのようすを自分の目で見ながら、かりとらないといけないので、きかいてはできません。しゅうかくした小菊は、大きさに分けて出荷します。

- ① きかいてしゅうかくしている。
 ② 人の手でしゅうかくしている。
 ③ つぼみと花に分けてしゅうかくしている。

答え ② 73.7

(知識・技能) ②
誤答例 ③(20.6)

- 5 スーパーマーケットのくふうについて、次の問いに答えましょう。
 (あ) あおいさんたちは、スーパーマーケットの見学に行く前に先生に下の写真を見せていただきました。この写真を見て、お店の人にしつ問したいことを一つ書きましょう。



お店の人にしつ問です。なぜ、

答え 正答(67.6)

※地産地消…地元でつくられたものを地元で食べたり使ったりすること。

(思考・判断・表現) ②
誤答(32.4) / うち無記入(4.8)

- (い) さとるさんたちは、スーパーマーケットで売り場のくふうについて話を聞きました。お店の人の話の続きについて、下の①～③の中から正しいもの一つえらんで、その番号を書きましょう。



野さいをいろいろ
な大きさに切っ
ているわけは…

店長

- ① たなに整理して入れやすいからです。
 ② いたんだりきずがついたりしているところを取っているからです。
 ③ 買う人の生活に合わせてえらべるようにするためです。

84.2

答え ③
(思考・判断・表現) ③
誤答例 ②(7.5)

- (う) お客様が店をえらぼうとしています。お客様のねがいと、それに合うスーパーマーケットのくふうを、線でむすびましょう。

①品物をつつて、知り合いの人に送りたい。

89.3

②家族が車いすにのっているの、入り口の近くに車をとめたい。

97.6

③いろいろなしゅるいの品物をえらんで買いたい。

92.2

④新せて、安全な食りょう品を買いたい。

86.3

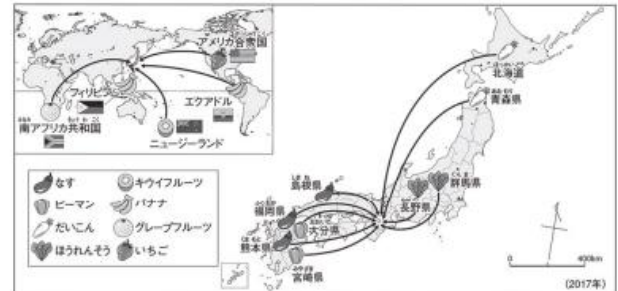
⑤買い物のついでに、ごみをリサイクルしたい。

96.2



(知識・技能) ①～⑤

- (え) 品物の産地について、下の①～③の中から正しいもの一つえらんで、その番号を書きましょう。



- ① なすは、一つの産地から運ばれてくる。
 ② バナナやキウイフルーツは、外国から運ばれてくる。
 ③ ピーマンは、日本の北の方から運ばれてくる。

82.6

答え ②
(知識・技能) ②
誤答例 ③(11.0)

3年生は社会科の入門期である。様々な社会的事象に興味・関心をもち、見つめたり、調べたり深めたり、広げたりしていく。いわゆる問題解決学習が、2年生までの生活科の学習をベースとして本格化されていくことになる。

上記のことを踏まえながら、「知識・技能」といった基礎・基本に関わる事柄の習得率を的確に表現できるように作成した。また、活用力をみるために、「思考・判断・表現」を問う問題を設定した。

1の考察

〔あ〕は、絵地図を見ながら、校区地図をもとに四方位を問う問題で、「西」を問う問題の正答率が71.8%、「北」を問う問題の正答率が73.2%であった。四方位を問う問題は、継続的に出題されており、東西を問う問題では前回の診断テストよりも正答率が6ポイント高い結果となった。しかし、南北を問う問題の正答率が前回に比べて4ポイント低い。今後も継続して、四方位に問う問題を出題していきたい。また四方位について理解させるために、実生活とも関連させながら、地図を意識した学習に取り組んでいく必要があると考える。

〔い〕は、「警察署」の地図記号を問う問題で、正答率は82.3%であった。また、誤答として最も多かったのが「市役所」であった。日頃から地図を読む学習を取り入れ、特に形が似ている地図記号はその成り立ちなども含め、丁寧に指導することが大切である。

〔う〕は、図書館と公民館という二つの公共施設を問う問題で、正答率は76.7%であった。主な誤答はスーパーマーケットとコンビニエンスストアであった。多くの人が利用する施設が公共施設であると判断している児童もいると考えられることから、公共施設の意味をしっかりと理解させることが必要である。

本設問を通して、地図から四方位や地図記号、土地利用の様子などを正しく読み取るために、3年生から積極的に地図帳を活用する機会をもつ必要があると考える。

2の考察

〔あ〕は市の土地利用の様子を読み取る「知識・技能」の問題で正答率は83.4%であり、おおむね理解できていると考える。

〔い〕は市の交通の様子について読み取る「知識・技能」の問題で正答率は63.3%であった。誤答は②19.6%、③16.6%であった。これは、選択肢の中に「西がわ」や「南がわ」といった方位が含まれていることによる誤答や、鉄道と道路の地図記号が混同していることから「鉄道が市全体に広がっている」と読み取ったことによる誤答と考えられる。市の様子を白地図にまとめる際には、方位を確かめたり、地図記号を活用したりする学習活動を行うことが必要である。

〔う〕は土地利用と交通の様子を読み取る「知識・技能」の問題で正答率は76.4%であった。今後も土地の利用と交通の広がりなど、多面的に市の様子を捉えられるように学習をしていくことが望まれる。

3の考察

〔あ〕は、安全な暮らしを守るために大切なことについて選択する「知識・技能」の問題で、正答率が81.8%であった。おおむね理解しているといえる。

〔い〕は歩行者として守るべき交通ルールについて具体的に記述する「思考・判断・表現」の問題で、正答率は55.2%と低かった。

誤答は41.8%で、無記入が2.9%であった。これらの結果から交通ルールの大切さはある程度理解できているが、交通ルールをどのようにして守り、行動すべきかを考え、判断・表現する力は十分ではないと思われる。授業の展開としては、交通事故などから自分の身を守るためにどのようにすればいいか、思考・判断する場面を設定するなど、工夫する必要があると考える。

4の考察

〔あ〕は小菊作りのこよみを読み取る「知識・技能」の問題で、正答率が56.6%と低かった。誤答は③23.6%、②19.0%であった。これは農事ごよみの見方がよく理解されていなかったものと考えられる。この単元は選択単元なので、農事ごよみについて学習していない児童もいたことが考えられる。授業者は、様々な種類の資料を読み取らせる場面を意識的に設定することで、資料を読み取る力を高めることができると考える。

〔い〕は生産者の吹き出しから、その努力や工夫を読み取る「知識・技能」の問題で、正答率は73.7%であった。誤答は③20.6%で、これは小菊の状態を見て収穫する、という内容をつぼみと花に分けて収穫する、と誤解したためであると思われる。ゲストティーチャーなどから話を聞く際には、重要な情報をつかむことができるよう、指導していく必要がある。

5の考察

この問題は、地元の農産物を活用するスーパーマーケットの工夫について、お店の人への質問を作る、「思考・判断・表現」の問題である。正答は70.9%、誤答は29.1%であった。結果の詳細は以下ようになった。

大問5	解答の分類	割合 (%)	
正答	○なぜ、「地元の農産物を地元の皆様へ」と書いているのですか。	3.4	70.9
	○なぜ、野菜を作った人の写真がのっているのですか。	51.6	
	○なぜ、地元でとれた野菜をおいているのですか。	2.6	
	○なぜ、地産地消のかんばんがあるのですか。	5.6	
	○その他資料と関連付けてスーパーマーケットのくふうについて質問を作ることができていれば正答とする。	7.7	
誤答	×「スーパーマーケットのひみつ」と関係がないもの。	3.8	29.1
	×資料以外に考えがおよんでいるもの	14.7	
	×その他	3.8	

×	「疑問」になっていないもの	1.7	
×	無記入	5.1	

(上記の結果は、何校かを抽出して追跡調査したものです。)

51.6%の児童は資料にある生産者の写真に着目して、質問を作ることができているが、「地産地消」という語句に着目した解答や「地元の農産物」といった看板の中身について記述している児童はそれぞれ5.6%、3.4%にとどまっている。このことから、3年生の授業では語句よりも写真資料の方が児童に疑問を持たせる際に有効であると考えられる。誤答は29.1%で、「資料以外に考えがおよんでいるもの」という解答の割合が14.5%と最も高く、資料を見る際に社会的な見方が働いていないことが推察される。これらのことから資料を見るだけでは、全体の3割程度の児童は質問を作ることが難しいことがわかる。

以上のことより、写真資料の活用は有効であるが、正しく読み取り、そこから疑問点を見出すことが難しい児童がいることがわかる。このような課題を解決するために普段の授業で、資料を見る視点を具体的に児童に示したり、疑問に思うことを記述するような学習を積み重ねたりすることが重要である。そして自分たちで見つけた疑問を、学習を通して解決することで、問題を発見することの大切さや、楽しさを感じさせたい。このように、見方・考え方を働かせる授業展開を普段から指導者が意識することで、問題発見力の基礎を養うことができると考える。

〔い〕は、販売者側の工夫を読み取る「思考・判断・表現」の問題である。正答率は、84.2%であった。誤答の理由としては、販売者側の工夫としてどれも正答のように思えるからではないかと考える。学習を進める際に、資料を提示された児童が疑問を抱き、販売者側が消費者のニーズに応えるためにどのような工夫をしているのかを考えさせるような授業展開が必要である。

〔う〕は、消費者の願いと販売者の工夫を結び付ける「知識・技能」の問題である。正答率は、5問の平均が92%以上あり、概ね理解できていると考える。

〔え〕は、スーパーマーケットで販売されている商品は、国内の他地域や外国からも仕入れられているという「知識・技能」を問う問題である。正答率は、82.6%である。誤答は①4.8%、③11.0%であった。誤答の理由として、方位が習得できていないことが考えられる。一つの資料から、産地や方位など色々な情報を読み取る力をつけていきたい。